

「1年間を振り返って」

直方支部 直方県土整備事務所 正崎貴子



仕事中的様子です。

を書こうか迷った末、約1年間の感想を書くことにしたが、つたない文章であることを先にお詫びします。

ピピピピピッ、ピピピピピッ。午前6時、目覚ましの音が鳴り響く。正直、まだ寝ていたい。昨年までの私だと、「まだいいやあ〜」と毛布に包まり、寝過してしまうという日が多々あった。うことで気持ちを切り替え、苦手な早起きを頑張っている次第である。

そんな日々を送っているなか、またもや私の苦手なことをしなければならなくなった。そう、今行っていること、作文を書くことである。何

●勤務地について

辞令交付式の際、直方に勤務することがわかり「直方ってどこにあるのかなあ〜?」「地図上では福岡市と近いからよかった♪」と、のん気なことばかり考えていたが、周りの人達との会話で直方の情報を入手するにつれ、次第に期待よりも不安の方が大きくなっていった。しかし、実際に過ごしてみると良いところもたくさんあった。(はじめの悪いイメージが強すぎただけ?) 怖い人が沢山いるかと思っていたが、通行人に挨拶をしたり、現地で調査をしていると「何をしているのか」「これからどういう風にするのか」など話しかけたりしてきたりと地元思いのいい人が多いなという印象を受けた。

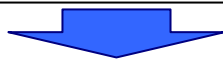
直方の印象

はじめ

- ・ 自然が**豊か**
- ・ **優しい**人多そう

情報収集後

- ・ 炭鉱で**栄**えていた町
- ・ **怖い人多いかも(?)**
- ・ 通勤時間に**2時間半**かかる(当時住んでいた所から)



現在

- ・ **自然と街が共存**している(駅周辺は栄えており、少し山の方に行くと長閑な景色)
- ・ **熱い**人が多い(冷めた人、物事に無関心な人はまだ会ったことがない気がする)
- ・ 声大きい(普段の声も大きい、興奮するとさらに大きく…↑と類似)
- ・ もち吉の発祥地(おせんべいで有名な**“もち吉”**はここで誕生☆)
- ・ **葡萄**がおいしい(葡萄の汁がたれ、紙が紫になったことも…今後気をつけます)
- ・ 事務所から臨む**景色がきれい**(遠賀川の河川敷沿いにあるため、春は桜、夏は花火大会、秋は紅葉と季節の移り変わりがきれい)
- ・ 大関**魁皇**の**出身地**で、試合に勝つと花火が上がる

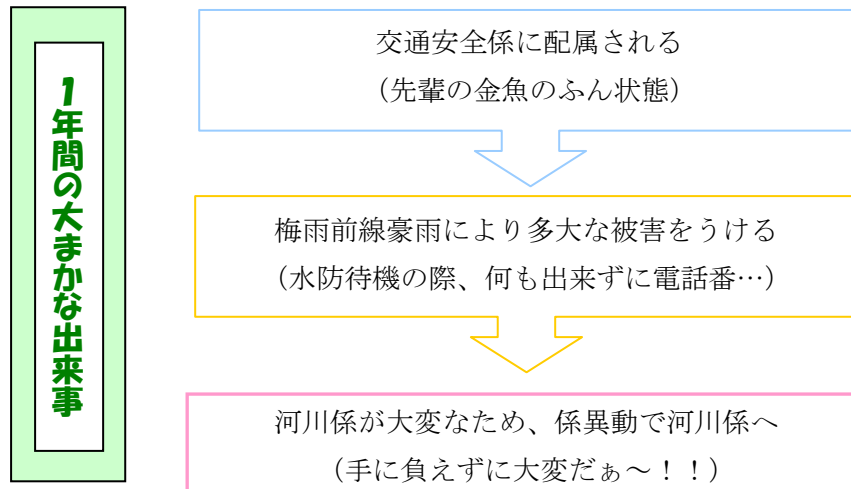
●職場について

「直方土木事務所道路維持課交通安全係勤務に命ずる。」所長室で辞令を受け、配属となったのは交通安全係。「土木なのに交通安全？交通誘導員になるのかなぁ？」と、何をするのかイメージがわからなかった。歩道を設置したり、交差点を改良して渋滞を緩和したりするという仕事内容を聞き、なるほど！交通安全という名前の所以はそこから来ているのかと理解した。はじめは仕事内容がわからないため、教育係の先輩のお手伝いからはじまった。図面の該当する箇所を赤鉛筆で塗ったり、数値が合っているかのチェックをしたりしているうちに、1つ目の自分の仕事がもらえた。大型案内標識の建て替えである。過去の事績を見ながら見よう見まねで設計書を作った。その後、歩道の設置と側溝のやり変えの仕事の担当になった。

7月末日、梅雨前線豪雨の影響により、川は「ゴーッ」という音をたて、ものすごい勢いで流れていた。1時間に100ミリ以上降る大雨だったため、道路は冠水し、山の方では大木が倒れ、土砂崩れが起き、浸水した家屋もでた。直方管内は被害が大きく、雨が止んだ後も通行止めの路線があり、「いつ通れるようになるのか？」「迂回路はどこなのか？」「〇〇が壊れている」という電話が殺到していた。被害を受けたのは道路だけではなく、河川の護岸もあちこちで崩壊していた。

異常な天然現象により被害を生じたため、復旧費を国から援助してもらおうと災害復旧事業の申請を行った。災害査定の制度も仕組みもわからなかったが、申請にむけ事務所全体で一つにまとまったよい機会だったように思える。「復旧長お願いします！」「復旧長△△mです！」という流れが心に残っている。箇所数が多く、残暑が厳しいなかで現地にも何度も調査に行ったため、とてもきつかったが良い思い出となった。毎年はあるが嬉しいが（笑）

10月、「直方県土整備事務所河川砂防課河川係勤務に命ずる。」と、辞令を受けた。事務所名が変わっただけではない。交通安全係から河川係に異動になったのである。職員になって半年、少しずつではあるがやっと仕事を覚えてきたところであったのに…。所長は、私が入庁して半年で係を移動することにとっても悩まれたみたいだったが、7月の豪雨の影響で河川係は人手が足りない＋新採は設計書をどんどん出して早く仕事に慣れた方がよいと考えの末の異動命令であった。道路と河川は内容が違うため、また1から覚えることだらけとなった。今まで発注していた工事を最後まで見届けたかったが、河川で頑張ろうと決意した。



●生活環境について

直方勤務の初日。はりきって家を出たのは6時前だった。そして職場に着いたのは8時半ギリギリ。毎日続けるにはつらいなと思った。そこで一人暮らしをすることにした。しかし、それでも通勤に1時間かかる場所に住むことになったが（笑）でも、嬉しかったこともある。電車通勤ができる事だ。今まで電車に乗ったことがほとんどなかったため、電車に乗ることが新鮮で窓から見える景色をウキウキしながら眺めていた。

今は初めほどの電車通勤の感動はないが、あと4年間、美しい田園風景の四季の移り変わりを車窓から贅沢に眺めながらの通勤を楽しむ予定です♪

※直方県土整備事務所 河川砂防課